

北關東大震の被害

昭和六年九月二十一日午前十一時二十分頃關東地方は突如強烈な地震に襲はれた。しかも稀れに見る長時間のものだつたので、地震になれた東京市民も昨年十二月の豆相大震災以來の大ショックを受けた。

地震は、發震時午前十一時二十分十秒、初期微動繼續時間十秒、最大震幅55耗、震度強震性質や急、總震動時間四十分、震央東京を距る北西約40軒(埼玉縣仙元山付近)と發表された。各地の震度は、強震柿岡、足尾、前橋、水戸、強震の弱き方 横須賀、甲府、銚子、松本、弱震福島、長野、福井、弱震の弱き方 濱松、彦根、布良、岐阜、微震 大阪八丈島。で、震動は、遠く奥羽、關西方面に及んだ。

被害の最も甚だしかつたのは埼玉縣下で、授業中の小學校が倒壊したり、煙突が根本から折れたり、水道鐵管の破裂、道路龜裂、電線切斷、等々の事故を惹き起した。

損害の程度は微細なるものまで調査はなされてゐないが、地震の最も激甚を極めた埼玉縣下に於ける狀況を摘記すると。

死者十一名、重傷者二十六名、輕傷者八十八名、全潰家屋百七十九、半潰家屋二百八十、煙突倒壊八十四、土地龜裂十九ヶ所、財産損害約百萬圓。

震害は東京市内にも多少はあつた、委しい調査は警視廳にも東京市にも出來てゐないが我が編輯同人の近くでも、日比谷附近のビルディングには少し宛の龜裂を生じてゐた處もあつたから、他のビルディングでも地盤の悪い處では、壁の龜裂位はあつたらう。

土木方面の被害は東京市内では無い様子だが、此とても委しく調べたら、混凝土の橋體などには多少の龜裂を生じた處もあらう。或は土留壁や、護岸等にも多少の損害はあつた事と思はれる。

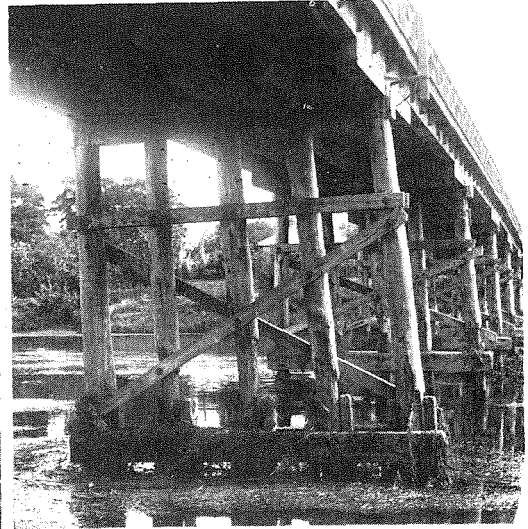
東京を離れて赤羽に出ると鐵道の土留石垣となつてゐる、間知石の練積の角の處が割れてをる。十米位に豎目節があつて、あれが大に役立つてゐるらしいが、角々は少し宛割れてゐる。赤羽驛でも此丈けの被害はあるのだから、次の荒川鐵橋なども詳細に調べたらピアの龜裂位發見出來るかも知れない。川口町のユニオンビール工場の倉庫や、ホームの混凝土など粗製らしいが、龜裂は割合に少い。

浦和町の縣廳道路なども鋪裝に龜裂は見えなかつた。

最も被害の大なりしは吹上町から熊谷町を通り、深谷、本庄町を貫く鐵道沿線の左右各15キロ米位である。特に震源地と發表された小川町の仙元山より10キロ米以上離れてゐる地點が激しかつた。而して舊荒川筋の地盤の悪い處が被害が多かつた様だ。深谷町では煙突の倒壊もあり、他の村村でも、人家の倒壊死傷者も少しはあつた。

埼玉縣全體の損害は中々大きいものらしい詳細な調査はまだ出來てゐないが、熊谷、松山線の荒川大橋延長200間、幅3.5間のプラウト、トラス橋9連の内、熊谷寄り橋脚三本とも6cm位の線裂が出來た、之は鐵筋の無い煉瓦卷コンクリート造であつたからやられたものらしい。而して此所も震源地側よりも熊谷町側の方が龜裂を生じたのである。此橋の被害は割合に大なる方で、修繕費も相當巨額に上るであらう。本庄、伊勢崎線の橋梁にも多少の被害があつた。被害の数から言ふと堤防の龜裂が最も多い様である。

次の寫眞は被害の狀況中、最も代表的なものである。



震害實況…1

(上右) 埼玉縣杉戸工區管内、府縣道越谷吉川線南埼玉郡大相模村と北葛飾郡吉川町の入會に架せられた古利根橋の、震災に因る橋脚傾斜の狀況である。橋長156米、幅員4米50の木橋である。

(上左) 右に同じ、橋は左右と上下流方向に動いた。

(中) 杉戸工區管内、府縣道久喜栗橋線北葛飾郡靜村大字高柳地内の、震災に因る路面龜裂の狀況。裂龜は長30米にも及んでゐる。

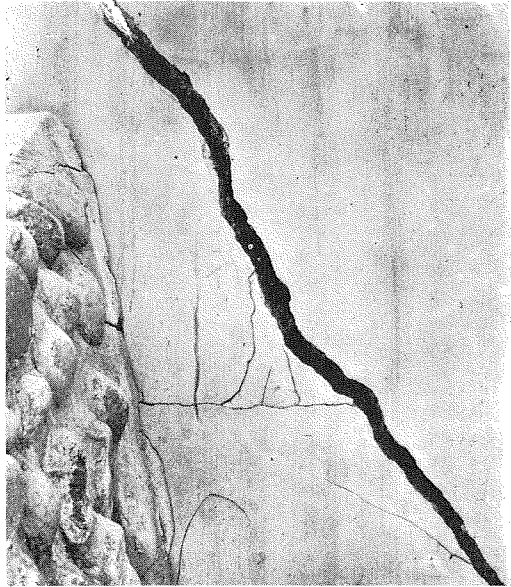
(下) 埼玉郡熊谷町南 荒川大橋ピアの震害狀況である。これは關東大震災前の構造物で、地震に對する考慮は拂はれてゐなかつた。ピアの構造は井筒上に一枚及び一枚半交互の煉瓦卷を以て形造り 1:3:6 混凝土を中詰としたもので鉄筋は入れてない。トラスは180呎のプラトトラスであるが固定端のピアに寫眞の如きクラックが生じ、ローラー端には龜裂がなかつた。

龜裂は上下流共に生じた。最大クラック約6c.m程度である。

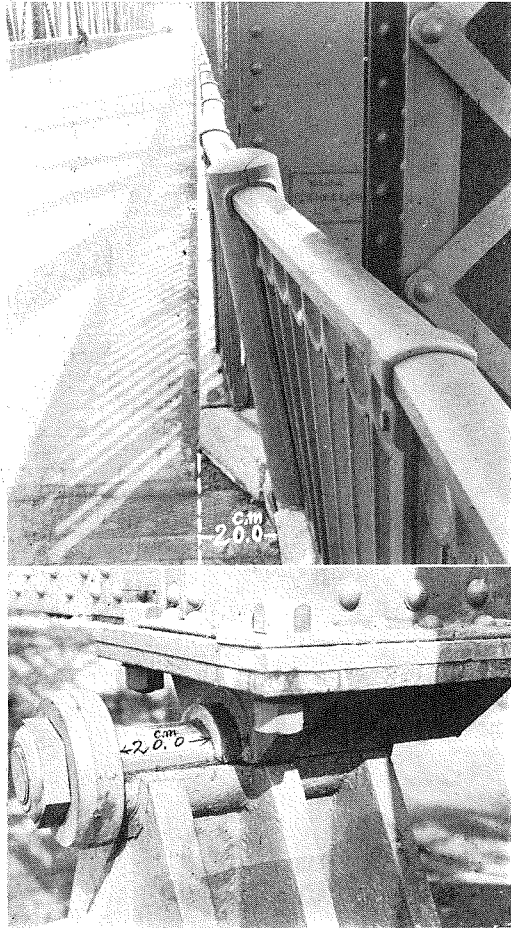


震 害 實 況 … 2

(上) 府縣道本庄伊勢崎間、利根川筋右岸
旭村山王堂地先、坂東大橋の橋臺袖壁の被害。
鐵筋を入れない混凝土被害の一例。

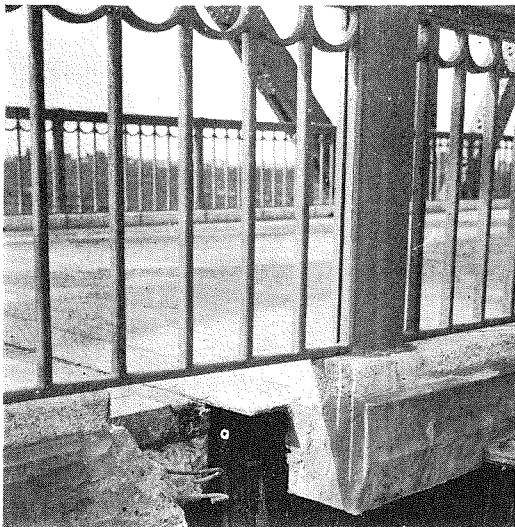


(中) 坂東大橋シュウ上部に於ける欄干屈
曲の狀況。トラスの固定端のみ上下流一上流
のもの又は下流に向ひたるものあり一移動
し、ローラー端は移動せざる爲、同一ピイア
上で橋面が喰違ひ、欄干の曲つたのを示す。



(下右) 坂東大橋シューの移動。中の寫眞
の下部である。トラスは 200 呎ワーレントラ
スで、シューの處で、それが上下流に約20呎
の程度に移動した 爲固定承構の滑動となつ
た。

(下左) 坂東大橋 200呎 ワーレントラス。
中及下右寫眞に示された被害の一部。

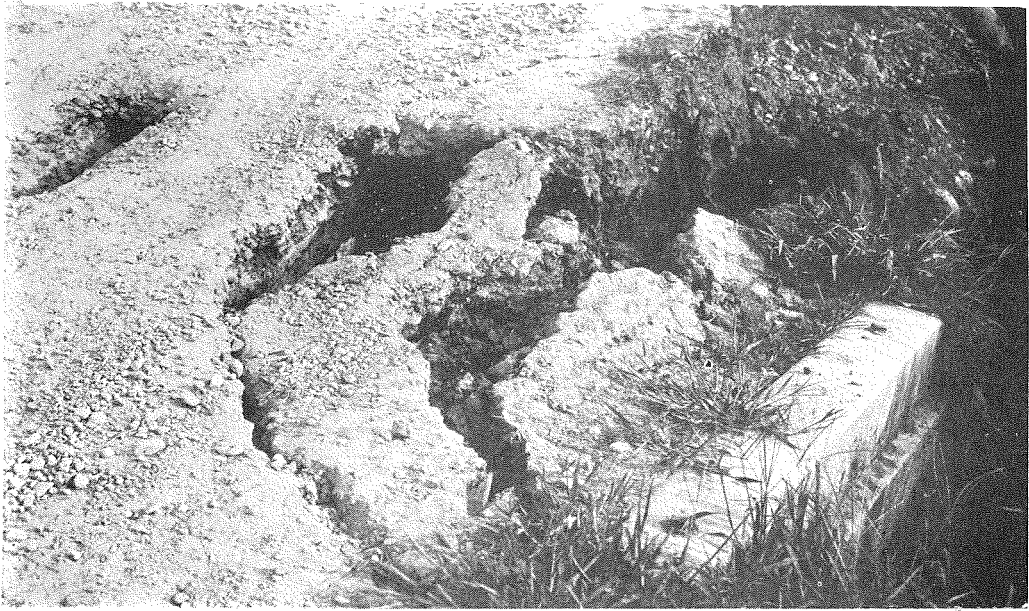




震害實況……3

(上) 本庄妻沼線の内、兒玉郡藤田村地内の備前渠に架設された橋梁の橋臺石積が地震のため崩落したので、應急假工事として土俵を積み、交通を支障なからしめた。

(下) 小山川筋堤防の震害に因る龜裂。兒玉郡藤田村大字瀧瀬字堀田地内である。九號國道が小山川に架した瀧岡橋の上流にあたる。



震害實況……4

(上) 本庄寄居線溝橋墜落。兒玉郡松久村大字甘粕地内である。

(下) 烏川筋の震災による龜裂陥没箇所。兒玉郡神保原村大字忍保、同郡賀美村黛界地内である。

